

報道関係各位

2018 年 4 月 11 日

INAXライブミュージアム企画展**「急須でお茶を一宜興・常滑・香味甘美(かみかんび)」**Tea Served in a *Kyusu*—Yixing & Tokoname, Sweet Aroma & Flavor

【会期】2018年4月21日(土)～2018年9月25日(火)

【会場】INAXライブミュージアム「土・どろんこ館」企画展示室



INAX MUSEUMS

株式会社 LIXIL が運営する、土とやきものの魅力を伝える文化施設「INAX ライブミュージアム」(所在地: 愛知県常滑市) では、2018 年 4 月 21 日から 9 月 25 日まで、企画展「急須でお茶を一宜興・常滑・香味甘美 (かみかんび)」を開催します。



撮影: 木村文吾

最近、急須でお茶を淹れたのはいつでしょうか。ペットボトルなどの普及により、急須でお茶を「淹れる」習慣から遠ざかった人が多くなっています。一方で、日本茶の産地や品種を知り、楽しむ人が増え、さまざまな点からお茶のよが見直されています。

急須は、茶葉を投じ、お湯をそそぎ、待ち、そして器につぐというお茶を淹れる一連の動作の主役となり、慌ただしい日常の生活を一瞬にして心地よい異空間・異次元へと導きます。やきもの、ガラス、鋳物など現在にはさまざまな素材の多彩なデザインがありますが、その多くは宜興産の急須がモデルになったものです。急須の名産地として日本でもなじみ深い、中国・宜興 (ぎこう)。なかでも「紫砂 (しさ)」と呼ばれる深みのある色の急須は、清時代の文人はもとより、日本の京都や江戸の文化人、さらにはヨーロッパの人たちをも魅了しました。急須は色や形を変えながら、茶を飲む文化とともにティーポットとして定着しました。常滑では、この宜興の影響を受けながら江戸時代後期から急須をつくり始め、日本の急須の代表的な産地に成長し現在に至っています。

INAX ライブミュージアムは、両産地の急須の秀でた魅力を発信することで日本の茶文化を世界に広め、両産地の発展に寄与すべく発足した「宜興・常滑友好交流プロジェクト」の一員を務めています。本展は、常滑と宜興の焼き物業界が 2016 年に締結した「友好交流提携」の趣旨に基づき、宜興陶器博物館・中国紫砂博物館と共同で開催するものです。お茶の時間をより味わい深いものにする魔法の道具「急須」の魅力を、宜興と常滑を中心とした古今の約 50 点の急須とともに紹介し、香り・音・映像の演出を通じてお茶を淹れるひとときの豊かさを改めて体感いただきます。

本件に関するお問い合わせ先株式会社 LIXIL (<http://www.lixil.co.jp/>)

本社: 東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビルディング 36 階

INAX ライブミュージアム: 愛知県常滑市奥栄町 1-130

担当: 水野、大澄 TEL. 0569 - 36 - 0206

※INAXライブミュージアムは株式会社LIXILの運営する文化施設です。

※このリリースは LIXIL ホームページ (URL: <http://www.lixil.co.jp/>) でも発表しています。

※報道関係者の方々にご取材いただきたく、ご検討をお願いします。ご取材いただける場合は、担当者までご連絡ください。

<参考資料>

開催概要

企画展「急須でお茶を一宜興・常滑・香味甘美（かみかんび）」

Tea Served in a *Kyusu*—Yixing & Tokoname, Sweet Aroma & Flavor

- 【会 期】2018年4月21日（土）～9月25日（火）
【会 場】INAX ライブミュージアム「土・どろんこ館」企画展示室
〒479-8586 愛知県常滑市奥栄町 1-130
TEL：0569 - 34 - 8282 FAX：0569 - 34 - 8283
【休館日】水曜日（祝日の場合は開館）
【観覧料】共通入館料にて観覧可
（一般：600 円、高・大学生：400 円、小・中学生：200 円）
【主 催】INAX ライブミュージアム企画委員会
【共 催】宜興陶瓷博物館・中国紫砂博物館
【協 力】宜興市政府、宜興市文廣新局、宜興陶磁行業協会
煎茶道賣茶流 家元 高取友仙窟
【展示デザイン】西本剛己（ARTLAB+）

■主な展示品（予定）

中国・宜興

- 紫泥茶銚、孟臣銘、萬豊順記形、清時代【写真 1】
- 周桂珍（中国工芸美術大師）、六倫壺、現代〔宜興陶瓷博物館蔵〕【写真 2】
- 邱玉林（中国陶磁芸術大師）、万裏茶道（彩陶紫砂壺）、現代〔宜興陶瓷博物館蔵〕【写真 3】
- 吳奇敏、合和壺、現代
- 范澤鋒、「禅泉・般若・立明」、現代

日本・常滑

- 三代清風与平、白釉茶銚、明治時代、京都
初代杉江寿門、朱泥菊型急須、明治時代、常滑〔とこなめ陶の森蔵〕
- 堀友直、色絵母子鶏茶銚、万古、明治時代【写真 4】
- 初代山田常山、朱泥茶銚、大正時代末期、常滑【写真 5】

【写真キャプション・クレジット】

写真 1：紫泥茶銚、孟臣銘、萬豊順記形、清時代〔個人蔵〕

写真 2：周桂珍（中国工芸美術大師）、六倫壺、現代〔宜興陶瓷博物館〕

写真 3：邱玉林（中国陶磁芸術大師）、万裏茶道（彩陶紫砂壺）、
現代〔宜興陶瓷博物館〕

写真 4：堀友直、色絵母子鶏茶銚、万古、明治時代〔個人蔵〕

写真 5：初代山田常山、朱泥茶銚、大正時代末期、常滑〔個人蔵〕

写真 4～5 撮影：木村文吾

※本リリースに掲載された画像（写真 1～5）の送付をご希望の際は、
担当者までお問い合わせ下さい。

■関連書籍 「急須でお茶を一宜興・常滑・香味甘美（かみかんび）」

2018 年 6 月 20 日発売予定

天地：257mm×左右 182mm／オールカラー総 64 ページ／無線綴じ

定価：1,500 円（税別） 発行：LIXIL 出版



写真 1



写真 2



写真 3

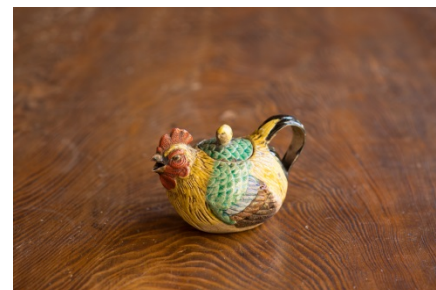


写真 4



写真 5

■INAXライブミュージアム概要

『INAX ライブミュージアム』

所在地：愛知県常滑市奥栄町 1-130

TEL：0569-34-8282

休館日：水曜日（祝日の場合は開館）、年末年始

共通入館料：一般 600 円、高・学生 400 円、小中学生 200 円

ホームページ：<http://www.livingculture.lixil/ilm/>

LIXIL 文化活動 Facebook：<https://www.facebook.com/LIXIL.culture>



INAX ライブミュージアム
「窯のある広場・資料館」(左)と
「世界のタイル博物館」(右)

LIXIL が INAX 創業の地、愛知県常滑市で展開しているミュージアムです。かつて土管が焼かれていた、大煙突と大きな窯を抱く建物を公開するなど、様々な展示や体験教室を通し、土とやきものが織りなす多様な世界と、ものづくりの心を伝えています。1986 年「窯のある広場・資料館」に始まり、「世界のタイル博物館」(1997 年)「陶楽工房（とうがくこうぼう）」(1999 年)を順次開設、2006 年には「土・どろんこ館」と「ものづくり工房」を加え、5 つの館を擁する「INAX ライブミュージアム」としてグランドオープン。2012 年には近代日本の建築と街を彩ったテラコッタやタイルを展示する「建築陶器のはじまり館」を開設し、6 つの館で躍動感あふれる活動を展開しています。



LIXIL は、創業期のクラフトマンシップを今に語り継ぎ、常に建築家やデザイナーと手を携え、機能性と洗練された美しさの融合を追求してきました。それこそが、私たちが掲げる「LIVING CULTURE」というコンセプトです。私たちはミュージアム、ギャラリー、資料館および出版活動を柱とした文化活動を通して、ものづくりの技と心を次世代に伝え、斬新なアイデアを発信する場を提供し、LIVING CULTURE を表現していきます。LIXIL は、ものづくりにこだわり、ライフスタイルや時代に合った美しく機能的な製品を作り続けることで世界中の人びとの豊かで快適な住生活の未来に貢献していきます。

■LIXILについて

LIXIL は、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEM をはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在 70,000 人超の従業員を擁し、世界 150 カ国以上で事業を展開する LIXIL は、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で 10 億人以上の人びとの暮らしを支えています。

LIXIL の様々な事業を傘下に持つ持株会社、株式会社 LIXIL グループ（証券コード: 5938）は、2017 年 3 月期に 1 兆 7,864 億円の連結売上高を計上しています。

LIXIL について：www.lixil.com/jp、<https://www.facebook.com/lixilcorporation/>

<別添>

『宜興・常滑友好交流プロジェクト』関連イベント

※注：開催日及び実施内容は変更となる場合があります

① 「常滑&宜興の急須展」

- 【会 期】2018年5月24日（木）～6月19日（火）
【会 場】常滑市陶磁器会館 1F/大ギャラリー、ワークショップスペース
〒479-0836 愛知県常滑市栄町 3-8
TEL：0569-35-2033 FAX：0569-35-7473
【主 催】『宜興・常滑友好交流プロジェクト』実行委員会
【共 催】常滑市陶磁器会館

■内容

- 展示即売＝宜興、常滑の急須を展示販売／大ギャラリー
- 煎茶、中国茶、宜興紅茶のデモンストレーション／ワークショップスペース
- 製作実演＝ろくろ実演（常滑）、パンパン製法実演（宜興）／ワークショップスペース

② 「急須でお茶を愉しみましょう」

本格的な煎茶の茶席のエッセンスを、気軽な雰囲気急須やお茶との新たな出会いを愉しむ、おとなの茶会。

- 【会 期】2018年7月8日（日）
【会 場】INAX ライブミュージアム
〒479-8586 愛知県常滑市奥栄町 1-130
TEL：0569 - 34 - 8282 FAX：0569 - 34 - 8283
【主 催】『宜興・常滑友好交流プロジェクト』実行委員会
【共 催】ぶらり常滑焼急須の里めぐり実行委員会
【参加費】有料（金額未定）

■内容

- 作品展示
- やきもの講座
- 茶入れ実演、体験 他

【『宜興・常滑友好交流プロジェクト』に関するお問い合わせ先】

『宜興・常滑友好交流プロジェクト』実行委員会事務局 （とこなめ焼協同組合内）

TEL (0569) 35-4309 FAX (0569) 34-8893

E-mail: info@tokonameyaki.or.jp